

**○ ペット領域における保険商品・ソリューションの開発・提供に向けた資本業務提携契約を締結
アニコム・東京海上日動（23/3/23 ニュースリリース）**

- ・ アニコムホールディングスと東京海上日動は、ペット領域における保険商品・ソリューションの開発・提供に向けて資本業務提携契約を締結した。
- ・ 近年、感染症の蔓延、少子高齢化、単身世帯の増加等による孤立・孤独化が社会課題となる中、家族の一員としてのペットの存在感は高まっており、そのペットに対しても安心・安全の提供につながる最適なソリューションの開発が求められている。
- ・ アニコムが持つペット領域における知見やネットワーク等と、東京海上日動が持つ損害保険の領域における経験・ノウハウ等を連携・交流し、ペット保険、ペット防災、ペットヘルスケアなどペット領域における川上から川下までを発展的につなぐ、新たなソリューションやサービスの開発を進め、提供していく。
- ・ 本提携の推進に向けて、東京海上日動は、市場外にてアニコムの普通株式を取得する予定。

○ 車修理費の基準20年ぶり上げ、2.5%（23/3/28日経朝）

- ・ 損保大手各社は4月から自動車保険の車両修理で自動車整備業者に払う代金を約20年ぶりに上げる。火災保険でも建設費上昇が保険引き受け余力を低下させる。再保険料も高騰する見通しで、自動車や火災の保険料の引き上げにつながる公算が大きい。
- ・ 大手損保は4月から事故車を修理するための工賃の算出に使う「指数対応単価」を引き上げる。対応単価は消費者物価指数の変動に応じて改定してきた。値上がりは工賃だけではなく、自動車整備業者と自動車メーカーは22年10月に平均4%程度部品価格を引き上げた。
- ・ インフレの影響は火災保険にも波及する。建設工事費デフレーター（15年度=100）は21年6月から常に110を超えている。また自然災害の多発により、大手4社合算の火災保険は12年連続赤字となっている。
- ・ 損保各社は国際市場を通じてインフレの悪影響を受ける。米連邦準備理事会が利上げを継続したことで、米国債利回りは上昇しており、機関投資家は再保険リスクを引き受けるよりも利回りの改善した国債投資にシフトしており、再保険料率がこの1年で米国で5割、欧州で3割上昇した。日本国内向けも23年4月の再保険公開に向け厳しい交渉を迫られている。
- ・ 原材料や燃料の価格が高騰する中、多くの企業が物やサービスの値上げに動く。保険料の値上げはこれらの値上げを受けた後になる遅効性がある。損保各社には丁寧な説明はもちろん、再保険の柔軟な手配などのリスク管理能力が求められそうだ。

**○ ドライブレコーダー等で得られたデータから過失割合の説明動画を提供 あいおいニッセイ同和
（23/3/28 ニュースリリース）**

- ・ あいおいニッセイ同和は、通信機能付きドライブレコーダー等から得られる位置情報や車両速度等を活用して過失割合の判定をサポートするテレマティクス損害サービスシステム（以下、テレマ損サ）に、新たに顧客向けの過失割合説明動画の自動生成機能を実装し、3月28日から提供を開始する。業界初の仕組み。

- ・ 当社はテレマ損サを 2019 年 4 月に導入し、車両の運転挙動データを用いた AI による事故状況解析機能や、過失割合の判定をサポートする機能を実装したことで、顧客満足度の向上や事故解決所要日数の削減を実現している。一方、双方に責任が発生する事故の場合、顧客へ過失割合の考え方や過失発生根拠を当社社員が説明する必要があり、より分かりやすく丁寧な対応が求められている。
- ・ そこで、今般、通信機能付きドライブレコーダー等から得られた情報をもとに自動で説明動画を生成し、顧客のスマートフォン上でいつでも過失割合の根拠等を確認できる仕組みを構築した。事故受付後、当社社員から顧客へ電話で連絡を行い、ショートメッセージサービスの送信に同意された顧客へ動画視聴用の URL を送付する。
- ・ 動画は約 5 分で視聴でき、顧客の利便性向上に加えて、過失割合に関する考え方や 3DCG による事故状況の再現映像などによって、分かりやすく丁寧な説明が可能となる。

○ 損害保険代理店によるリスクソリューションの提供開始 MS&AD (23/3/28 ニュースリリース)

- ・ 三井住友海上ならびにあいおいニッセイ同和は、損害保険代理店による、保険の補償前後におけるリスクソリューションの提供を開始する。事故・災害による被害を未然に防ぐソリューションと、事故発生後の早期回復を支援するソリューションを創造・提供することにより、「お客さまへの提供価値」の変革を進めていく。
- ・ 三井住友海上は、リスクを発見・発信・低減するリスクソリューションを提供することで「リスクソリューションのプラットフォーマー」としての役割を果たし、代理店は、顧客や各地域の課題解決につながるソリューションを「リスクソリューションプロバイダー」として提供することにより、「当社および代理店の役割」の変革を進めている。また、あいおいニッセイ同和は、CSV×DX を実現するために、社会・地域課題の解決を目指しており、顧客に一番近いパートナーである代理店による補償前後の価値提供を行うこととしている。
- ・ 三井住友海上は成長ビジョンとして掲げるサステナビリティ・トランスフォーメーション (SX) の実現に向けて、優先的に取り組む主な 4 つの社会課題に対応した 12 個のソリューションを 4 月より提供する。また、あいおいニッセイ同和は 23 年度の提供開始に向けてソリューションの選定等を進めている。
- ・ 2023 年 4 月より提供を開始するソリューション (名称のみ) は以下の通り。
 - ①地球環境との共生：住宅用太陽光パネル・蓄電池、CO2 簡易算定サービス、畜産 DX ソリューション
 - ②革新的テクノロジー：サイバーセキュリティサービス、通学路安全支援システム
 - ③強靱性・回復力：防災グッズ販売・期限管理サービス、ドラレコ・ロードマネージャー、防災ダッシュボード
BCP サポートツール
 - ④包摂的社会：ヘルスケアアプリ、健康経営支援ツール

* 共通：RisTech 分析サービス

○ 個人向けライフソリューションサイト「buddy+ for smile」の新設 東京海上日動 (23/3/29 ニュースリリース)

- ・ 東京海上日動および東京海上日動あんしん生命は、個人向けのライフソリューションサイト「buddy+ for smile」を新設した。同サイトで提供するサービスの第一弾として、保険契約の診断サービスや、生活全般をサポートする厳選された情報配信を行うことで、顧客の生活全般の“不安”と“安心”のギャップ解消を目指す。
- ・ 昨今の環境変化により社会全体のデジタル化がより一層進み、対面を主軸としている保険ビジネスにおいても非対面・非接触のニーズが広がりがつつある。また、インターネットを通じて多くの情報を入手できるようになり、保険を含めた生活全般に必要な情報を選別することの重要性が高まっている。

- ・「buddy+ for smile」で提供するサービスは以下の通り。
 - ①保険のモレ・ダブリ診断サービス：顧客にスマートフォン等で顧客自身の情報を入力することで、最短 3 分で現在加入している保険契約の補償の漏れや重複を、生損保一体で分かりやすく案内する。顧客の要望に応じて、当社代理店による保険のコンサルティングを実施することも可能。
 - ②生活全般をサポートする厳選した情報・ソリューションの配信：「buddy+ for smile」の LINE 友達追加や本サイトにメールアドレスを登録いただいた顧客に対して、保険に限らず、お金・健康・教育など生活全般をサポートする情報や解決に至るサービスを厳選し、わかりやすく案内する。
- ・本サイトでは今後も個別ソリューションを拡充・拡大していく。また、当社代理店や外部専門家による相談・コンサルティングにシームレスで繋げることで、オンラインとオフラインの融合による新たな価値の創造を目指す。

○ 「Yahoo!ショッピング」での自転車関連商品購入時にワンストップで加入できる「あんしん自転車保険」の提供を開始 損保ジャパン（23/4/4 ニュースリリース）

- ・損保ジャパンはヤフー株式会社が運営するオンラインショッピングモール「Yahoo!ショッピング」で自転車関連部品を購入したユーザー向けに、自転車に起因するさまざまな事故を補償する「あんしん自転車保険」の提供を 2023 年 4 月 3 日から開始した。
- ・さまざまな商品・サービスをスマートフォンから購入する消費行動は、その利便性から日常生活においても広く浸透してきているなか、保険商品を他社の商品・サービスに組み込んで提供する「エンベデッド・インシュアランス（組込型保険）」が新時代の保険販売手法として注目されている。そのような消費行動の変化を踏まえ、損保ジャパンは、多くの顧客の日常生活における利便性向上のため「Yahoo!ショッピング」の自転車購入動線の中に、シンプルでわかりやすい「あんしん自転車保険」を組み込んで提供することとした。「Yahoo!ショッピング」での自転車、自転車部品購入時に、ワンストップで「あんしん自転車保険」に加入できる。
- ・自転車事故における被害者の救済と加害者の経済的負担軽減の観点から、自転車保険への加入を義務化する動きが広がっている。「あんしん自転車保険」は広がる自転車保険の加入義務化条例に対応している。
- ・「あんしん自転車保険」は月額 140 円から加入でき、賠償事故は家族全員を補償する。家族プランに加入すると賠償事故に加えて家族全員のケガも補償される。
- ・補償内容は以下の通り。

補償内容	お手軽プラン	基本プラン	安心プラン
死亡・後遺障害保険金	100 万円	100 万円	300 万円
入院日額	－	3,000 円	5,000 円
通院日額	－	1,500 円	2,500 円
賠償責任 (家族全員を補償)	1 億円	1 億円	3 億円

以上